

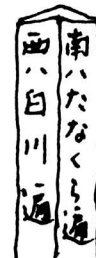
※ 1 里 = 36町(3.9273km) 1 町 = 60間(109m) 1 間 = 6 尺(1.818m)

田島からかぶ内にくると右へ釜子へ行く道があり、この分岐点に木
でできた道しるべが戦後しばらくの間ありましたが、今はありません。

またかりしきざかの佐川周平さんの庭に、高さ70cm、まわりが80cm
の四角の石の道しるべがあります。年月がたって、あたまはややかど
がとれていますが、江戸時代、明治のはじめごろまで、旅人の便をは
かったことでしょう。

「東ハあさ川遍、西ハ白川遍、南はたなくら遍、北ハ屋 道しるべ
ぶき遍」ときざんであります。

今は道路標しきでかりしきざかには、矢吹へ10km、石川
へ11km、たなくらへ12km、あさ川へ8km、白河へ13kmと
なっています。



④交通のうつりかわり

大むかし釜子地方は松田とって、東山道の駅で馬がおかれていま
した。江戸時代のころは道路のせいげんがあって、いばらぎ街道は道
はば3間(やく5m)ときめられていたようです。しかしこれも宿場
のあるところで、大ぶぶんの道路は道はばが2間(やく3.6m)だ
ったと考えられます。だからそのころの交通は人や馬やかごによるあるく
交通だったわけです。

釜子小前の釜子金山線は道路はばがやく5m、役場前の矢吹たなく
ら線はやく7m、かりしき坂ちかくの白河石川線はやく8mあります。
車の往来が多くなった今では、道路のはばが広くなるのもなりゆきと
いえましょう。

人力車がかごにかわってでてきたのは明治のころですが、これは西
洋馬車にヒントをえて日本人が考えだしたものです。白河駅の前にも